

さんSUN スマイル

津市立南立誠小学校

3年学年だより

No.16

平成30年9月12日(水)



三重大の先生に昆虫のからだのつくりを教えていただきました。



6日、三重大の後藤先生に来ていただき、昆虫についてのお話をさせていただきました。

大きなカブトムシの模型を手にした子どもたちは大喜びです。昆虫の体のつくりについて、いろいろな事例をあげながらわしくお話をさせていただきました。

初めて知ることばかりで、昆虫への関心を高めることができました。



・虫は、1000万種類もいて、地球上の生き物の8割が昆虫だと聞いて、驚きました。

・昆虫の口は、足が変化した物だと初めて知りました。足のかたちは、働きによって変化してきたそうです。

・カブトムシの頭だと思っていた部分が、胸だった。模型の裏を見たら、足がついていたから、確かに胸だと分かった。その分、頭はとても小さかった。

・大きな模型を見て、今まで気づかなかった足のトゲや口の形が分かった。

・テントウムシなどは、足にきゅうばんのような物があるからガラスのようなつるつるの物にもくっつけるということが、分かった。足の吸盤がついているなんて、不思議だな。

